

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月25日

事業所名 放課後等デイサービスセンター 鈴鹿清寿苑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	スペースには限りがあり、屋内と屋外等活動を2つに分けて行っています。	隣接の家族交流室の活用など、限られたスペースを有効活用していきます。
	2	職員の配置数は適切である	6		加配の職員を配置しております。送迎等は現場の職員が不足することないよう応援体制を整えています。	応援体制の徹底を図ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	雨天時等は老人デイの玄関から出入りしています。	開き戸で幅が狭く、出入りの際は職員がドアの開閉を行い、付き添い安全に配慮します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	日々の打ち合わせや毎月の職員会議で検討を重ねています。	より良い改善を図るため、振り返りを大切に、検討します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	評価表とともに活動に対するアンケート等を実施しております。	評価表やアンケートの結果を踏まえ、改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	ホームページにて公開しています。	事業所の掲示板に掲載します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		現在外部評価は受けておりません。実施を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	毎月の職員会議や全体会議で研修を行っております。	積極的に内外の研修へ参加し、外部の研修へ参加した際は、職員全体で共有できるよう図ります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	ご本人やご家族からお伺いした内容と相談支援専門員から頂いた計画を基に、放課後等デイサービス計画を作成しております。	今後も客観的な視点での分析を重ねてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	法人内で統一されたアセスメントシートを基に放課後等デイで必要な項目を追加したものを使用しております。	毎年書式の検討を行い、より適切なシートを構築していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		コロナ禍で外出活動は中止となりましたが、上半期・下半期に分け、2回の年間行事(部屋づくり・お店屋さん体験)を行いました。	より皆様にお楽しみ頂けるよう職員全員で活動を計画していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		始まりの会では、職員提案と子供たちからの提案を出してもらい、日々の活動を決めています。	より多彩な職員提案ができるよう努めていきます。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	平日は放デイのみ、休日は日中一時で卒業生にもご利用いただき一緒に活動しています。コロナ禍で活動に制限はありますが、人込みを避け外出も行っております。	きめ細やかに課題を設定しているとは言えず、検討してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	利用者様に状況に合わせ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。	より充実したサービスが提供できるよう計画の見直しを図ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援開始前には打ち合わせを行い、当日の支援の内容の確認等を行っています。	継続して行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	送迎後や翌日等に振り返りを行うことがあります。気づいた点等はケース記録や連絡ノートを活用しています。	勤務時間にばらつきがあり、ほとんどの職員は支援終了後送迎に出るため当日にはできていませんが、振り返りを行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々ケース記録・業務日誌を作成しています。ご家族や学校からの連絡事項も別に連絡表を作成し、職員全員が確認するようにしています。	より適切な記録となるよう記録の取り方について検討します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	定期的にモニタリングを行っています。	今後も継続して定期的にモニタリングを行うとともに、モニタリング時期以外でも変化があった場合は迅速に計画の見直しを行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1	基本活動を複数組み合わせ合わせて提供しています。	基本活動の中でもよく提供できているものあまりできていないものがあり、幅広くいろいろな活動が提供できるよう努めていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		今年度は機会がありませんでしたが、児童発達支援管理責任者が参加しています。	児童発達支援管理責任者とともに、児童指導員が同席できる場合には同席します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		書面をベースに行っています。急な変更にも電話で連絡を取っています。	ご本人・ご家族に迷惑がかかからないよう努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	ご家族を介して連絡を行っております。	必要に応じて直接連絡が取れるよう体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	該当のケースがありませんでした。	利用希望のあった際には卒園までの様子を保育園等にお伺いし、継続した支援が行えるよう努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		ご要望を頂きましたら、情報提供書を作成し、お渡ししています。	ご要望がありましたら、対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	相談を行ったことはありませんが、研修の案内を頂きましたら、積極的に参加しています。	相談の必要がありましたら相談し、助言を受けます。研修にも参加を継続します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	今年度はコロナの為機会がありませんでした。	地域のイベント等に参加し交流の機会を検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	本会議には法人より委員が参加しています。連絡協議会へ児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も積極的に参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		迎え時には体調等の確認を行い、送り時にはケース記録を持参しその日の様子をお伝えしています。	今後も共通理解を図れるよう、日々の様子をお伝えすると共に、課題や悩み事についてもご相談させていただきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	特に行っておりません。	家族会の開催に併せて勉強会等を検討していければと思います。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		利用契約時に説明をさせて頂いております。また、法改正等により変更があった際には文書で配付・同意をいただいています。	今後も分かりやすく丁寧な説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	ご相談をいただいた際には、丁寧に対応するよう努めています。	気軽にご相談いただけるよう、話して頂きやすい関係づくりを目指していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	コロナの為今年度の家族会は中止となりました。	来年度は家族会の開催方法を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情解決窓口を設け、迅速・適切な対応に努めています。また、契約時には、第三者委員や行政機関の連絡先の説明を行っております。	法人全体で苦情の解決に努めてまいります。

への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		年に数回通信を発行し、行事の写真等を掲載しお知らせしています。また、活動費等の費用が発生する活動を実施する場合は、事前に案内をお配りしています。	通信の内容をより分かりやすく見やすいものとなる様、検討して参ります。
	35	個人情報に十分注意している	5	1	施錠や書類の不要な持ち出しの厳禁等、注意を図っています。	今後も個人情報の管理には十分注意していきます。業務中の会話の内容にも注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		意思疎通の為、言葉を言い換えたり、文字や絵で示したりしています。保護者との連絡も口頭だけでなく、メールやFAX・伝言メモ等を活用しています。	今後も的確に意思の疎通が図れるよう、さまざまな手段を模索していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	今年度記念式典を開催する予定でしたが、延期となりました。	地域の方々と触れ合う機会を検討します。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	各種マニュアルの策定は行っていますが、保護者への周知はあまりできていません。	事業所の玄関に設置する、ホームページへ掲載する等、保護者の方への周知を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年2回以上、サ高住・老人デイと合同で避難訓練を実施しています。	ご利用日によってこれまで訓練に参加できていない利用者様もみえ、開催日を検討します。放課後等デイ単独での訓練も検討します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		職員会議や法人全体の研修会で随時行っております。	苑内外の研修に積極的に参加・実施を図っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	車椅子の方等ご利用者様の状況に応じて、契約時に身体拘束に関する説明と同意書へのサインをいただき、計画に盛り込んでいます。	身体拘束の必要性について協議し、拘束時間の削減に努めてまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	直接医師とのやり取りは行っておりませんが、検査結果をいただく等保護者を通じて行っております。	口頭での確認だけでなく、文書による確認を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	随時ヒヤリハットを作成し、検証を行っています。	小さなことでもヒヤリハットを作成し、業務改善に努めてまいります。